

2021年8月2日

投融資ポリシーの制定

～責任ある投融資に向けた取組み～

株式会社 千葉興業銀行(頭取 梅田 仁司)は、責任ある投融資への取組み方針を明確にするため、投融資ポリシーを制定いたしました。

当行はこのポリシーにもとづいた責任ある投融資を通じ、地域金融機関として、環境・社会的課題の解決に取り組むお客さまとともに、持続可能な社会の実現に寄与してまいります。

1. 投融資ポリシーの概要

当行は、地域の「環境・社会に配慮した投融資」に取り組むことで、金融仲介機能やコンサルティング機能の発揮だけでなく、社会的責任と公共的使命を果たしてまいります。なお、地域の環境・社会等に大きな影響を与えると考えられる以下の業種・セクターへの投融資については、当行の取組み方針を公表いたします。

- (1) 石炭火力発電所
- (2) 兵器 (クラスター爆弾)
- (3) パーム油農園開発・森林伐採事業

※特定の業種・セクターへの取組み方針は別紙をご覧ください。

2. 制定理由

当行は、2021年6月に「ちば興銀サステナビリティ・ステートメント」を制定し、これまで以上に、地域の経済・産業・社会の持続的な発展・繁栄に貢献していくことを明確に表明いたしました。

従前より、気候変動への対応や生物多様性保全、人権尊重をはじめとする環境・社会的課題に対して適切な対応を行っている企業の取組みは積極的に支援してまいりましたが、ステートメント制定を機に、地域金融機関として求められている「投融資業務を通じて環境問題や社会課題の解決に貢献していく」という責任ある投融資への取組み方針を明確にするため「投融資ポリシー」を制定することといたしました。

以上

2021年8月1日

投融資ポリシー

千葉興業銀行は、地域の「環境・社会に配慮した投融資」に取り組むことで、金融仲介機能やコンサルティング機能の発揮だけでなく、社会的責任と公共的使命を果たしてまいります。なお、地域の環境・社会等に大きな影響を与えると考えられる以下の業種・セクターへの投融資については、当行取組み方針を公表いたします。

- (1) 石炭火力発電所
- (2) 兵器（クラスター爆弾）
- (3) パーム油農園開発・森林伐採事業

特定の業種、セクター（事業）への取組み方針

- (1) 石炭火力発電所
二酸化炭素排出による気候変動への影響を勘案し、原則、新規建設する石炭火力発電所向けの投融資は行いません。
ただし、国のエネルギー政策等を踏まえ、投融資を検討する場合には、発電効率性能や環境への影響等を総合的に勘案したうえで慎重に対応を検討いたします。
- (2) 兵器(クラスター爆弾)
クラスター爆弾など、非人道的な兵器を製造する事業者への投融資は行いません。
- (3) パーム油農園開発・森林伐採事業
森林資源の違法伐採や児童労働等の人権侵害が行われる、もしくは行われる可能性の高いパーム油農園開発向け投融資や森林伐採事業向け投融資は行いません。
なお、パーム油農園開発向け投融資や森林伐採事業向け投融資を検討する場合、国際的に認められている認証の取得状況や環境に対する配慮状況、地域社会とのトラブルの有無等に十分留意したうえで対応します。